

児童生徒等の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果から明らかになった現状

自校の取組の成果と課題

区分	成果と課題
①暴力行為の状況等	特記事項なし
②いじめの状況等	「いじめ防止対策推進法」「本校いじめ防止基本方針」に則って校内委員会をもち、教職員・保護者が一丸となって事案の共通理解と解決策の行動化に取り組んでいる。区役所子育て支援室のカウンセラーも当該児童に関わりケアを進めてきた。現在、当該児童間の関係は良好で落ち着いている。今回の事案を猛省し、児童理解・学級経営等の見直しを図り、さらにチーム学校の精神で安心・安全の学校づくりを推進していく。
③小・中学校における不登校の状況等	保護者が就寝した後に深夜に布団の中でゲームをするなど、朝に気持ち良く目覚められないことから不登校になるケースが増加している。昼夜逆転などから学校生活を中心にした健全な生活習慣から逸脱し、不登校になることが多い。
④高等学校における長期欠席の状況等	
⑤高等学校における中途退学の状況等	